

第11回日本ジオパーク全国大会島根半島・宍道湖中海大会プログラム

1. 大会名称 第11回日本ジオパーク全国大会島根半島・宍道湖中海大会

2. 目的

第11回日本ジオパーク全国大会島根半島・宍道湖中海大会は、ジオパーク事業の取り組みを多くの方々に知っていただくとともに、各ジオパークの情報交換や意見交換などを行い、ジオパークの一層の発展・向上につなげることを目的として開催します。

3. テーマ 今、なぜジオパーク？

4. サブテーマ 国引きの地から持続可能な地域づくりを考える

5. 会期 令和3年10月3日（日）～5日（火）

6. 会場 くにびきメッセ（松江市）
ビッグハート出雲（出雲市）

7. 主催 第11回日本ジオパーク全国大会島根半島・宍道湖中海大会実行委員会
一般財団法人自治総合センター

8. 共催 日本ジオパークネットワーク
日本ジオパーク委員会
日本ジオパークネットワーク中四国近畿ブロック

9. 参加方法 現地参加を基本に、オンライン参加もできるハイブリッド形式

10. プログラム

大会参加登録費5,000円を支払った大会参加登録者は、原則としてすべてのプログラムに参加できます。なお、別途参加費が必要なプログラムがあります。

プレジオツアー（大会開会前）

	ツアー名	実施日	担当	大会参加登録が無くても参加できるプログラム	参加費	オンラインでの参加方法
1	大陸分裂の島根半島縦断ツアー ～日本海の幸がモリモリ～	10/2,3	島根半島・宍道湖中海(国引き)ジオパーク推進協議会	—	別途必要	なし
2	悠久の大地で潮汲み体験 ～島根半島四十二浦を巡る(出雲編)～	10/2,3				
3	宍道湖・中海の生き物と歴史文化ツアー ～ラムサール条約湿地を味わい尽くす旅～	10/2,3				
4	大地の偉大な造形巡り ～人々を魅了する巨樹・巨岩・大地～	10/2,3				

※詳細の旅程等については後述

10月2日(土)

○松江会場(くにびきメッセ)

時間	プログラム <会議室>	内容	大会参加 登録が無く ても参加 できる プログラム	参加 費	オンラインで の参加方 法
15:00～ 17:00	JGN活動 相談会 <501>		—	—	—

10月3日(日)

○出雲会場(ビッグハート出雲)

時間	プログラム <会議室>	内容	大会参加 登録が無く ても参加 できる プログラム	参加 費	オンラインで の参加方 法
13:00～ 15:45	市民公開講 座(講演、 パネルディ スカッション) <白のホー ル>	①講演「世界の巨石～人と関わる大地・文化・観 光・ジオサイトの魅力」 講師：写真家、巨石ハンター 須田郡司さん 講師がこれまで訪ね歩いた世界と日本の中から印象 的な巨石を選定し、その岩質をはじめ人と関わる大地 (自然)・文化(神話・信仰)・観光・ジオサイトなど の魅力を紹介する。 また、巨石の写真による巨石巡りの擬似体験を通じ、 ジオ多様性としての「地球の記憶」を楽しめるようにす る。 ②パネルディスカッション「出雲地域の大地と文 化の関わり」 ファシリテーター：河野美知 神社ガールズ研究会会長 (認定ジカト) パネラー：平野芳英 荒神谷博物館学芸顧問 服部昌幸 出雲市佐香コミュニティセンター長 (認定ジカト) 入月俊明 島根大学学術研究院 環境システム科学系教授	○	—	視聴のみ (YouTube Live)
10:00～ 17:00	JGN6ブ ロック別パ ビリオン	ジオパークのおもしろさや、大地とグルメ、歴史、文化 などとのつながりを情報発信するブース出展等。	○	—	ホームペー ジ閲覧 (希望者は ポスターや動画 をHPに掲 出)
10:00～ 17:00	ジオパーク 展示	①ジオパークの基本的紹介 ②ジオパーク関連映像上映	○	—	なし
10:00～ 17:00	物産展	①全国のジオパーク商品販売 ②島根半島・宍道湖中海ジオパーク認定ジオブランド商 品、地元特産品販売	○	—	なし
10:00～ 17:00	スタンプラ リー	各催し会場でスタンプを集め、抽選で記念品贈呈。	○	—	なし

10月3日(日)

○松江会場(くにびきメッセ)

時間	プログラム <会議室>	内容	大会参加 登録が無く ても参加 できる プログラム	参加 費	オンラインでの 参加方法
10:00～ 12:00	JGC事前相談会 <501,601>	ユネスコ世界ジオパーク国内推薦申請希望地域 日本ジオパーク申請希望地域	—	—	—
13:00～ 15:00	JGN運営会議 <国際会議場>		—	—	—
15:00～ 17:00	市町村長セッション <小ホール>	<p>【コロナ時代のジオパーク活動による地方創生と持続可能な社会の構築】 コロナ禍で、大都市圏への人口集中の是正と、人口や産業の地方分散がますます重要となっており、「地方創生」に向けた絶好の機会となっている。 「地方創生」を推進するうえで、感染症や自然災害に強い「持続可能な地域社会の構築」やSDGsの理念は欠かすことができない。このような状況の中、以下の議論を行う。 ①市町村長が、ジオパークと行政のトップを兼ねている地域は多く、ジオパーク活動と行政の施策との連携や、ジオパーク運営組織と地域住民または行政内部との連携など各ジオパークの状況について情報共有や議論を行う。 ②さらに、コロナ禍における地方創生や持続可能な地域社会の構築の実現に向けて、ジオパーク運営組織やガイドなどの関係者によるジオパークのネットワーク活動の強化について、トップの視点から議論を行う。 【ファシリテーター】島根半島・宍道湖中海(国引き)ジオパーク推進協議会長 上定昭仁(島根県松江市長) 【コメンテーター】新名阿津子(東北公益文科大学公益学部准教授、JGC委員) 【パネラー】6名程度(JGN6ブロックから各1名ずつを予定) 【参加者】JGN正会員及び準会員地域の市町村長 【担当】島根半島・宍道湖中海(国引き)ジオパーク推進協議会</p>	—	—	視聴のみ (YouTube Live)

10月4日(月)

○松江会場(くにびきメッセ)

時間	プログラム 〈会議室〉	内容	大会参加 登録が無く ても参加 できる プログラム	参加 費	オンラインでの 参加方法
9:00~ 10:00	開会式 〈大展示場 2/3〉	1 主催者・共催者あいさつ ①第11回日本ジオパーク全国大会島根半島・宍道湖中海大会実行委員会実行委員長 ②日本ジオパークネットワーク理事長 ③日本ジオパーク委員会委員長 2 来賓紹介・あいさつ 3 新規認定証授与、JGN表彰	○	—	視聴のみ (YouTube Live)
10:05~ 10:45	特別講演 〈大展示場 2/3〉	ラフカディオ・ハーン 講演「小泉八雲、「ジオ」へのまなざし」 講師：小泉凡 小泉八雲記念館長(島根県立大名誉教授) 日本文化のインタープリターとして知られる、小泉八雲(ラフカディオ・ハーン/1850-1904)は、1890年8月から1年3か月間、松江に滞在した。山陰の自然に魅了され、宍道湖や島根半島をジオ的まなざしで観察し、火山・地震・種々の岩石に言及しつつ、詩人的感性で描写した。とくに「子どもの魂の岩屋」「日御碕」「伯耆から隠岐へ」(いずれも『知られぬ日本の面影』)などにジオ的描写が豊かにみられる。 また、勤務先の島根県尋常中学校で行われていた地質学の連続授業では、宍道湖や海岸地帯へのフィールドワークを行い、イギリスの生物学者・博物学者であるトマス・ヘンリー・ハクスリーの研究成果が生かされていることに驚嘆し、高く評価している。('英語教師の日記から')そして、八雲自身もハクスリーの著書11冊を愛蔵し、その中には地質学の書も含まれていた。 後年、神戸時代に書いた新聞記事「地震と国民性」では、自然災害が多発し、海岸線も河川の流れるも変わるような国土が、日本人に変化を受け入れる能力を付与した。西洋文明を短期間で受容・昇華することができたのもその成果だと評価する。この風土と文化の相関についての仮説も、松江時代のジオ的観察が土台となっていることは言うまでもない。 熊本五高での講演では、「自然との共生とシンブルライフの維持が将来の日本にとって最重要」であることを説いた。オープン・マインドで異文化を受け入れ、人種差別や人間中心主義を嫌悪した八雲の精神は、SDGsの思想とも響き合うものが感じられる。	○	—	視聴のみ (YouTube Live)
10:55~ 11:35	基調講演 〈大展示場 2/3〉	講演「過去から将来への沿岸環境と人新世」 講師：齋藤文紀 島根大学研究・学術情報機構エスチュアリー研究センター長(JGC委員) 人類が日本列島に住むようになって以降、海水準は100m以上も変動してきた。現在よりも2度ほど温暖であった縄文前期から海水準はほぼ安定しており、沿岸低地や沿岸域の多くの地形がこの期間に形成されている。将来の海水準の変動では、最新のIPCCの報告によると2300年に現在よりも1mから5m上昇することが推定されている。また海水準の上昇以外の人間活動によっても沿岸環境は大きな影響を受けており、沿岸域は最も脆弱な地域の一つとされている。一方、人間活動は地球環境を大きく改変しつつあり、新たな地質時代の人新世が国際地質科学連合において現在検討されている。持続可能な社会を構築するためにも、これらの最新の知見や沿岸環境が抱える問題などについて報告する。	—	—	視聴のみ (YouTube Live)

11:35～ 12:05	基調提起 <大展示場 2/3>	講師:米田徹 日本ジオパークネットワーク 理事長 大会テーマ「今、なぜジオパーク？」に対する 答えを参加者各自が導き出せるように、これまでの 10年のジオパーク活動への想いや今後の活動 の展望などについてお話いただく。	—	—	視聴のみ (YouTube Live)
12:05～ 14:00	昼休憩				
13:00～ 17:30	ガイド講習会 (有 料) <401>	体験(アクティビティ)を通してメッセージを伝 える技術「インタープリテーション」に触れ、楽 しく安全に、お客様が主役となる場作りを体験・ 実習します。 【講師】菊間彰 一般社団法人をかしや代表理事 仲上美和 環境教育事務所Linoworks 代表 【担当】萩ジオパーク推進協議会	—	別 途 必 要	なし
14:00～ 15:00	グループトーク <多目的ホール、小ホ ール、国際会議場、 501 会議室>	参加者が各分科会会場に分かれ、「今、なぜジオ パーク？」なのか、これから10年の考え方や手 法などについて参加者同士が議論する	—	—	対話式 (Zoom)
15:00～ 17:30	口頭発表を中心と する分科会 <多目的ホール、小ホ ール、国際会議場、 501>	①保全・保護 【ジオパークで考える海ゴミ問題】 海ゴミ問題に取り組むジオパーク関係者に、現 状の課題や解決への取り組み事例などを紹介し てもらい、各関係者および参加者の意見交換や議 論から今後の海ゴミ問題への取り組みを共有し、 ジオパークプログラムにおける保全活動につい て考える。 【ファシリテーター】兵庫県立大学大学院 地域資源マネ ジメント研究科 川村 教一教授、佐野恭平助教 【担当】山陰海岸ジオパーク推進協議会 ②担い手育成(学校教育) 【ジオパークで目指したい教育ってなに?】 ジオパークの教育は単に地形や地質をまなぶ ことではない。「今、なぜジオパーク?」なのか。 社会に求められている子どもたちの教育に、ジオ パークはどのように貢献できるのかを議論する。 【基調提起】 芝浦工業大学工学部 谷田川ルミ教授 芝浦工業大学建築学部 栗島英明教授 【ファシリテーター】室戸ジオパーク推進協議会事務局 【担当】室戸ジオパーク推進協議会 ③社会貢献(防災) 【ジオパークだからこそできる防災・減災活 動】 災害を“自分ごと”として考えられる取り組み を模索する。タスクチームを創設して、全国大 会後も分科会での意見等を踏まえながら活動を 継続し、最終的な防災・減災活動方針等を取りま とめる。 【ファシリテーター】東北学院大学 目代邦康准教授 【担当】四国西予ジオパーク推進協議会 ④ネットワークの意義・活用(地域内のネッ トワークづくり) 【地域内のパートナーシップで何ができる のか】 ジオパーク協議会はトップダウンではなく、地 域組織(地元企業含む)や住民と連携しながらボ トムアップで取り組んでいく必要がある。そうい った連携の事例発表をして、情報共有し、ジオパ ーク全体のレベルアップに繋げていく。 【ファシリテーター】隠岐ユネスコ世界ジオパ ーク推進協議会事務局他 【担当】隠岐ユネスコ世界ジオパ ーク推進協議会	—	—	対話式 (Zoom)

10月4日(月)

○松江会場(くにびきメッセ)

時間	プログラム 〈会議室〉	内容	大会参加 登録が無く ても参加 できる プログラム	参加 費	オンラインでの 参加方法
9:00～ 17:30	展示ブース 〈大展示場 2/3〉	JGN 正会員及び準会員地域、JGN 協賛会員、大学、研究機関等に対して、展示スペースを提供し、PR の場として活用していただく。	○ (12:30 ～入場 可)	—	ホームペー ジ閲覧 (希望者は パネルや動画 をHPに掲載)
9:00～ 17:30	ポスターセッション 〈大展示場 2/3〉	ジオパークに関するさまざまな活動事例、研究成果、問題点やそれに対する取り組みなど、幅広い観点からの事例発表を募集します。	○ (12:30 ～入場 可)	—	ホームページ閲覧 (希望者は ポスターをHPに 掲出)
		1 活動事例(保 全・保護)			ジオサイト等における保 全・保護活動、海ごみ問題 に対する取り組み、湿地で の保全活動 等
		2 活動事例(担い 手育成)			学校、地域等における教 育、地域住民との協働、ガ イド養成 等
		3 活動事例(社会 貢献)			防災やユニバーサルデザ イン等の取り組み、 with/afterコロナ時代のジ オパークの取り組み 等
		4 活動事例(ネッ トワークの意 義・活用)			ジオパーク地域内のネッ トワーク活動、日本国内ま たは世界のジオパークとの ネットワーク活動、企業と ジオパークの連携 等
		5 活動事例(地域 振興)			ジオツーリズム、ガイド 活動、ジオブランド商品の 取り組み、マーケティング 戦略 等
		6 最近の学術研 究成果(ジオ、 エコ、ヒト、融 合研究)			各ジオパークで最近行わ れた学術研究の成果や、各 ジオパーク学術研究助成金 等利用者による研究成果を 発表する。
		7 ジオパークに ある神話・伝説 をジオ言葉で 語ってみよう			地質や地形の学術は人々 の生活の中で芽生えてきた もので、その原点は神話や 伝説と同じところにあっ たと考えられている。神話 や伝説の多い島根半島・宍 道湖中海ジオパークでの開 催を機会に、全国のジオパ ークで語られてきた神話・ 伝説を持ち寄り、古代から 続く人々の地域の自然観を 再発見してみませんか。
8 その他	文化、自然、生態系、食に 関する取り組み、VRやSNS を活用した取り組み 等				
13:00～ 13:50	ポスターセッションコアタイム 〈大展示場 2/3〉	発表者がポスターの前に立ち、説明していただく。	○ 発表者は 大会参加 登録が必 要	—	ホームペー ジ閲覧 (希望者は 発表動画を HPに掲載)
9:00～ 17:30	物産展 〈大展示場 2/3〉	①全国のジオパーク特産品販売 ②国引きジオブランド商品、地元特産品コーナー ③しじみ汁販売コーナー ④参加者弁当受け渡しコーナー	○ (12:30 ～入場 可)	—	なし

10月5日(火)

○松江会場(くにびきメッセ)

時間	プログラム <会議室>	内容	大会参加 登録が無く ても参加 できる プログラム	参加 費	オンラインでの 参加方法
9:00~ 12:00	ガイド講習会(有料) <401>	10月4日から引き続き	—	別途必要	なし
9:30~ 12:00	口頭発表を中心とする分科会 <多目的ホール、小ホール、国際会議場、501、601>	①保全・保護 【ジオパークでの湿地の価値の評価と保全の実際】 湿地の多面的な価値の評価方法を共有し、ジオパークプログラムにおける湿地での保全活動、持続可能なツーリズム、教育活動とは何かについて考える。 【基調講演】広島大学大学院人間社会科学研究科 浅野敏久 教授 【ファシリテーター】 富永紘平(筑波山地域ジオパーク推進協議会) 野口和典(南紀熊野ジオパーク推進協議会) 【担当】JGN運営会議保全ワーキンググループ	—	—	対話式 (Zoom)
9:00~ 12:00		②担い手育成(地域住民) 【地域住民との協働】 どのようにステークホルダーとして地元企業を巻き込んでいくか、地元が潤うシステム作りを地域住民と一緒にどのように考えるかなどの議論を促し、持続可能な地域経済活動とは何かについて考える。 【ファシリテーター】 和歌山大学教育学部 此松昌彦教授 和歌山大学観光学部 出口竜也教授 山陰海岸GPガイドコーディネーター 今井ひろこ氏 【担当】南紀熊野ジオパーク推進協議会			
9:30~ 12:00		③社会貢献(ユニバーサルデザイン) 【大自然の驚異に立ち向かう人類~多様なリスク評価ネットワーク~】 covid-19などの感染症や地球温暖化、自然災害など大小様々な脅威に対して、地域と人の多様性とこれをつなぐネットワーク活動を生かしたリスク回避と克服の可能性と人類の地球での持続可能な生活を、ユニバーサルデザインの観点から議論する。 【ファシリテーター】松原典孝(山陰海岸ジオパーク推進協議会) 他 UDワーキンググループ 【担当】JGN運営会議ユニバーサルデザイン(UD)ワーキンググループ			
9:00~ 12:00		④ネットワークの意義・活用(ジオパーク同士のネットワークづくり) 【ネットワークによる多様な連携】 日本国内だけでなく、世界のジオパーク間のネットワークについても取り上げ、事例発表と情報共有を行い、ジオパーク全体のレベルアップに繋げていく。 【ファシリテーター】隠岐ユネスコ世界ジオパーク推進協議会事務局他 【担当】隠岐ユネスコ世界ジオパーク推進協議会			
9:00~ 12:00	⑤地域振興(ツーリズム) 【ジオツーリズムと地域振興】 ジオツーリズムは、特に地質や景観に焦点をあてた自然エリアを訪れ、ツアー参加者の資源の保全への志向性を高める事業である。それはジオサイト(見学場所)への旅行、ジオ多様性の保全、鑑賞と学習を通じた地球科学への理解を促進さ	—	—	—	

		せる。 しかし、ジオパークでは、ジオサイトを守ることで地域を発展させる仕組みがきちんと構築されているのか？ この分科会では、資源保護と地域経済の成長を両立させ持続的な地域の経済的發展を促進する仕組みや課題について議論する。 【ファシリテーター】株式会社ジオ・ラボ 栗原憲一代表取締役社長 【参加対象者】ジオパーク運営団体事務局員 【担当】Mine 秋吉台ジオパーク推進協議会			
12:00～ 13:00	休憩				
13:00～ 14:30	パネルディスカッション <大展示場 2/3>	・分科会の各ファシリテーターから分科会内容について報告する。 ・パネルディスカッションファシリテーターと分科会ファシリテーター及び会場参加者とのディスカッションを行う。 ・これから10年のジオパーク活動について議論を深め、大会テーマ「今、なぜジオパーク？」の答えをまとめる。 【ファシリテーター】NPO法人桜島ミュージアム 福島大 輔理事長（桜島・錦江湾ジオパーク）	○	—	視聴のみ (YouTube Live)
14:30～ 15:00	閉会式 <大展示場 2/3>	1 大会宣言 2 次回開催地あいさつ 3 閉会あいさつ	○	—	視聴のみ (YouTube Live)
9:00～ 16:00	展示ブース、ポスターセッション、物産展 <大展示場 2/3>	10月4日から引き続き開催	○	—	ホームページ閲覧

ポストジオツアー（大会閉会后）

	ツアー名	実施日	担当	大会参加登録が無くても参加できるプログラム	参加費	オンラインでの参加方法
1	大地の偉大な造形巡り ～人々を魅了する巨樹・巨岩・大地～	10/5, 6	島根半島・宍道湖中海（国引き）ジオパーク推進協議会	—	別途必要	なし
2	悠久の大地で潮汲み体験 ～島根半島四十二浦を巡る（松江編）～	10/5, 6				
3	河の力で変わる大地と歴史 ～自然に向き合う人々の智慧～	10/5, 6				
4	溶岩を読む・楽しむ・動かす！ ～陸上火山と海底火山～	10/5, 6				
5	大地と人をつなぐ隠岐の島町満喫ジオツアー	10/6, 7	隠岐ユネスコ世界ジオパーク推進協議会			
6	大地から紐解く神社めぐりツアー in 西ノ島	10/6, 7				
7	日本海沿岸の環境問題を考える ～日本海が作り出した景観と環日本海の歴史～ （保護保全部会「海ゴミ」との連動型ジオツアー）	10/5, 6	山陰海岸ジオパーク推進協議会			

※詳細の旅程等については後述

※ジオツアー内容、旅程概要

①プレジオツアー

プレジオツアー 1

大陸分裂の島根半島縦断ツアー

～日本海の幸がモリモリ～

1名 36,400円 (税込)

1部屋1名 洋室シングル

催行人数：20名（最小催行人数：18名）
1泊、夕食1回、朝食1回、昼食1回
※夕食はコロナ対策した宴会場となります。

島根半島は、大陸分裂から日本列島形成の経過が地質で見られる場所です。特徴によって4つのエリアに分かれています。その分かれる場所を、出雲国風土記では「折絶（おりたえ）」と呼び、さらに4つの陸塊をそれぞれ網で引いたのだ。と詠っています。これは偶然なのか？古代人が地質を詳しく観察した結果なのか？謎解きツアーです。1日目は、大陸分裂期の美保関、遊覧船で日本海拡大期の海底火山の跡を見学。2日目は、大きな褶曲や折絶を見て、明治時代に小泉八雲が遊覧した大社湾をクルーズ船で日御碕へ。旅の終わりは古代出雲の輝きを出雲大社と博物館でたっぷり味わいます。

10月2日(土) (1日目)

(12:30) 出雲空港発

(13:00) 松江駅発

→美保関灯台→美保神社→加賀の潜戸を遊覧船で見学

→松江ビジターセンター

(18:10) 宿着：穴道湖藩の宿 松江ニューアーバンホテル

参考コース図：<https://goo.gl/maps/AS234hqjWWhDzY539>

10月3日(日) (2日目)

(8:30) 宿発

→小伊津海岸(洗濯岩)→稲佐の浜

→日御碕クルーズ 大社漁港から日御碕へ

→昼食(日御碕)→日御碕(柱状節理・日御碕神社など)

→出雲大社・古代出雲歴史博物館→出雲会場ブロックパビリオン

(17:40) 松江駅着

(17:55) 松江しんじ湖温泉駅着

参考コース図：<https://goo.gl/maps/CFHbKQqnQpAkubudu7>

島根半島・穴道湖中海ジオパーク

10月2日(日) (1日目)



10月3日(土) (2日目)



※悪天候時は、遊覧船およびクルーズの予定を変更しますので、ご了承ください。

プレジオツアー 2

悠久の大地で潮汲み体験

～島根半島四十二浦巡り(出雲編)～

1名 29,700円 (税込)

1部屋1名 洋室シングル

催行人数：20名（最小催行人数：18名）
1泊、夕食無し、朝食1回、昼食1回
※夕食は現地で配布する飲食ガイドマップを参考にホテル周辺でお取りください。

大陸分裂、日本海拡大を経て日本列島誕生にいたる大地変動の痕跡をとどめる島根半島。そこには、42の浦の神社を潮汲みで身を清めながら祈願・巡拝していく『島根半島四十二浦巡り』があります。この旅は、出雲市の3つの浦を巡り、潮汲み体験をしながら出雲の大地と歴史文化を堪能します。1日目は出雲大社の神迎え神事で有名な稲佐の浜で潮汲み体験をし、出雲大社と古代出雲歴史博物館を見学します。2日目は、迫力満点の奇岩・巨石のある大社湾をクルーズ船で日御碕へ。続いてリアス式海岸にある北前船が寄港していた鷺浦へ。最後は四十二浦の結願の地、一畑薬師へ向かいます。

10月2日(土) (1日目)

(12:30) 出雲空港発

(13:00) 出雲市駅発

→稲佐の浜にて潮汲み体験→下の宮・上の宮、奉納山

→出雲大社(四十二浦1番)

→出雲大社・命主社 →古代出雲歴史博物館

(17:00) 宿着：出雲ロイヤルホテル

参考コース図：<https://goo.gl/maps/neTu4EZu6dTnt34v8>

10月3日(日) (2日目)

(8:00) 宿発

→日御碕クルーズ 大社湾から日御碕へ

→日御碕神社(四十二浦2番)

→日御碕(柱状節理・灯台周辺など)

→昼食(日御碕)→鷺浦(イナセハギ神社：四十二浦3番)

→街並み散策→出雲会場ブロックパビリオン→一畑薬師

(17:30) 松江しんじ湖温泉駅着

(17:45) 松江駅着

参考コース図：<https://goo.gl/maps/Vy5ebmsPEnc5Rb7n8>

島根半島・穴道湖中海ジオパーク

10月2日(日) (1日目)



10月3日(土) (2日目)



※悪天候時は、クルーズの予定を変更しますので、ご了承ください。

プレジオツアー3

宍道湖・中海の生き物と歴史文化ツアー
～ラムサール条約湿地を味わい尽くす旅～

1名 31,800円 (税込)

1部屋1名 洋室シングル

催行人数：20名 (最小催行人数：18名)
1泊、夕食1回、朝食1回、昼食1回
※夕食はコロナ対策した宴会場となります。

当ジオパークにはラムサール条約湿地の宍道湖・中海があり、冬になるとコハクチョウやマガンなど4万羽を超える水鳥が飛来します。塩分濃度が海水の1/10程度で、日本で7番目の面積の宍道湖、塩分濃度1/2程度で5番目の面積の中海の連なる日本最大級の汽水域は、多くの生き物が生息できる環境を提供しています。

1日目は、中海に浮かぶ大根島の溶岩トンネル内や親水護岸での生き物探し、宍道湖のサンセットクルージングを楽しみます。2日目は宍道湖の生き物を自然館ゴビウスで見学し、昼食は江戸時代に木綿の出荷で栄えた木綿街道、その後、ブロックパビリオンを風土記の丘で古代出雲に思いをはせます。

10月2日(土) (1日目)

(12:30) 出雲空港発

(13:00) 松江駅発

→なかうみスカイポート →道の駅本庄経由

→大根島波入港・竜溪洞 →宍道湖サンセットクルーズ →

(18:20) 宿着：宍道湖畔の宿松江ニューアーバンホテル

参考コース図：<https://goo.gl/maps/F652XXT79AMTfnrV6>

10月3日(日) (2日目)

(9:00) 宿発

→宍道湖自然館ゴビウスと宍道湖グリーンパーク

→木綿街道 街巡りと酒蔵と昼食(ごはん屋綿の花)

→出雲会場ブロックパビリオン →八雲立つ風土記の丘

(17:30) 松江駅着

(17:45) 松江しんじ湖温泉駅着

参考コース図：<https://goo.gl/maps/LQE5VJoakGp3Du49>

島根半島・宍道湖中海ジオパーク

10月2日(日) (1日目)



10月3日(土) (2日目)



※悪天候時は、クルーズの予定を変更しますので、ご了承ください。

プレジオツアー4

大地の偉大な造形を巡る旅
～人々を魅了する巨石・巨木・奇岩～

1名 28,800円 (税込)

1部屋1名 洋室シングル

催行人数：20名 (最小催行人数：18名)
1泊、夕食無し、朝食1回、昼食1回
※夕食は現地で配布する飲食ガイドマップを参考にホテル周辺でお取りください。

古来より人々から敬意・畏怖されてきた巨石・巨木・奇岩は、今もその魅惑を放散しています。溢れだす偉大な大地の造形の力を感じてください。

1日目の立石神社は、必ず雨を降らしたもうタキツヒコを祀り、今も大切に守られている大岩。近くの小伊津海岸の洗濯岩は島根半島を揺るがした福曲を見学。そして、クルーズ船から日御碕のダイナミックな岩礁や聖地の島を堪能します。2日目は、出雲大社とその背後にあって神聖な八雲山の岩肌に触れ、巨石の下から糸魚川産のヒスイの勾玉が発見された場所へ。古代出雲の輝きを博物館で味わい、出雲会場のブロックパビリオンを見学します。

10月2日(土) (1日目)

(12:30) 出雲空港発

(13:00) 松江駅発

→立石神社 (巨石・雨乞い・大船山)

→小伊津海岸 (洗濯岩)

→日御碕クルーズ 大社港から日御碕へ

→日御碕 (ビジターセンター、柱状節理、灯台周辺)

(18:40) 宿着：グリーンリッチホテル (出雲市駅前)

参考コース図：<https://goo.gl/maps/2yvPkwbSZjR1E8Sq7>

10月3日(日) (2日目)

(8:20) 宿発

→奉納山→上宮、下宮→福佐の浜

→鷺浦 →昼食(大社神門通り)

→出雲大社と近くの命主社 →古代出雲歴史博物館

→出雲会場ブロックパビリオン

(17:00) 松江駅着 (17:15) 松江しんじ湖温泉駅着

参考コース図：<https://goo.gl/maps/xxbE6jEaCVmE79GbA>

島根半島・宍道湖中海ジオパーク

10月2日(日) (1日目)



10月3日(土) (2日目)



※悪天候時は、クルーズの予定を変更しますので、ご了承ください。

②ポストジオツアー

ポストジオツアー1

大地の偉大な造形を巡る旅

～人々を魅了する巨石・巨木・奇岩～

1名 26,900円 (税込)

1部屋1名 洋室シングル

催行人数：20名（最小催行人数：18名）
1泊、夕食無し、朝食1回、昼食無し
※夕食は現地配布する飲食ガイドマップを参考にホテル周辺でお取りください。

古来より人々から敬意・畏怖されてきた巨石・巨木・奇岩は、今もその魅惑を発散しています。溢れだす偉大な大地の造形の力を感じてください。1日目の立石神社は、必ず雨を降らしたもうタキツヒコを祀り、今も大切に守られている大岩。近くの小伊津海岸の洗濯岩は島根半島を揺るがした褶曲の産物。2日目は、出雲大社とその背後にあって神聖な八雲山の岩肌に触れ、巨石の下から糸魚川産のヒスイの勾玉が発見された場所へ。さらに、クルーズ船から日御碕のダイナミックな岩礁や聖地の島を堪能して古代出雲の輝き歴史博物館で眼前にします。

10月5日(火) (1日目)

(15:30) くまびきメッセ発

→立石神社 →小伊津海岸(洗濯岩)

(18:15) 宿着：グリーンリッチホテル(出雲市駅前)

参考コース図：<https://goo.gl/maps/MzB3YtQsxtkC5J7>

10月6日(水) (2日目)

(8:00) 宿発

→出雲大社と近くの命主社→奉納山→(上宮、下宮)

→稲佐の浜→日御碕クルーズ 大社港から日御碕へ

→昼食(日御碕商店街で各自)

→日御碕(日御碕神社、遊歩道、灯台周辺)

→鷺浦 →古代出雲歴史博物館

(16:30) 出雲市駅着

(17:05) 出雲空港着 ※2日目の昼食は好みのお店で自費となります。

(17:50) 松江駅着

参考コース図：<https://goo.gl/maps/Ck8WKSxa3wWoj8p18>

島根半島・宍道湖中海ジオパーク

10月5日(火) (1日目)



10月6日(水) (2日目)



※悪天候時は、クルーズの予定を変更しますので、ご了承ください。

ポストジオツアー2

悠久の大地で潮汲み体験

～島根半島四十二浦巡り(松江編)～

1名 32,200円 (税込)

1部屋2名 和室

催行人数：20名(最小催行人数：18名)
1泊、夕食1回、朝食1回、昼食1回
※夕食はコロナ対策した宴会場となります。
定額の料金は1部屋2名です。1部屋1名の場合は、35,500円になります。

大陸分裂、日本海拡大を経て日本列島誕生にいたる大地変動の痕跡をとどめる島根半島。東西およそ70kmにおよぶ島根半島にある42の浦の神社を潮汲みで身を清めながら祈願・巡拝していく『島根半島四十二浦巡り』。今回は松江市の5つの浦を巡り、潮汲み体験をしながら大地と歴史文化を堪能します。「えびす神」を祀る総本宮である美保神社。「世界の灯台100選」に入る美保関灯台は、大陸分裂初期の石材で作られた灯台です。そして海底火山と日本海のダイナミックな造形が見られる加賀浦へ。神話や伝承が眠る加賀の潜戸を遊覧船で巡る島根半島の海と大地を満喫できるツアーです。

10月5日(火) (1日目)

(15:30) くまびきメッセ発

→三保神社(四十二浦42番) →美保関灯台(地蔵崎)

(18:00) 宿着：文化財指定の本館ある美保館

参考コース図：<https://goo.gl/maps/RpHKcVvmf8HYwqB66>

10月6日(水) (2日目)

(7:50) 宿発

→青石畳通り・潮汲み・美保神社(朝御饗祭・巫女舞の見学)

→潜戸遊覧船(潜戸コース)

→松江ビジターセンター →昼食(小波の民宿なかよし)

→桂島の散策

(14:10) 松江駅着

(15:00) 出雲空港着

参考コース図：<https://goo.gl/maps/bCeykmdwVXXYLvVr7>

島根半島・宍道湖中海ジオパーク

10月5日(火) (1日目)



10月6日(水) (2日目)



※悪天候時は、遊覧船の予定を変更しますので、ご了承ください。

ポストジオツアー3

河の力で変わる大地と歴史
～自然に向き合う人々の智慧～

1名 27,900円 (税込)

1部屋1名 洋室シングル

僅行人数：20名 (最小僅行人数：18名)
1泊、夕食無し、朝食1回、昼食1回
※夕食は現地で配布する飲食ガイドマップを参考にホテル周辺でお取りください。

古代出雲国では、今の宍道湖の西に大きな汽水域「神門水海（かんどのみずうみ）」が広がっていました。それが、ヤマノオロチ神話の語られる斐伊川（ひいかわ）の力や三瓶山の噴出物、さらにはタタラ製鉄などによって徐々に埋まり、出雲平野に変わって行きました。1日目は、出雲平野と天井川となった斐伊川を見学し、そこに生まれた運河開削の歴史に出会います。2日目は、出雲平野を作った源流をたずね、たたら製鉄跡、川の力が削った大渓谷を見て、江戸末期に生産が盛んになった木綿の流通拠点、木綿街道を訪れます。この出雲平野に生まれた古代出雲文化にも触れます。

10月5日(火) (1日目)

(15:30) くまびきメッセ発

→斐伊川 →高瀬川 →神戸川

(18:10) 宿着：グリーンリッチホテル (出雲市駅前)

参考コース図：<https://goo.gl/maps/4ZMaUTB3r4T2Wc96>

10月6日(水) (2日目)

(8:30) 宿発

→朝日たたら跡→立久恵峡展望所

→築地松見学 →木綿街道 →昼食 (木綿街道) →稲佐の浜

→古代出雲歴史博物館

(16:40) 出雲市駅着

(17:15) 出雲空港着

(18:00) 松江駅着

参考コース図：<https://goo.gl/maps/hYJvHYxPBFC15iv67>

島根半島・宍道湖中海ジオパーク

10月5日(火) (1日目)



斐伊川河川敷



國の長浜 (くにびき海岸)

10月6日(水) (2日目)



朝日たたら跡



立久恵峡



木綿街道



出雲平野の辻松 (敷屋村景観)



出雲大社



古代出雲歴史博物館

ポストジオツアー4

溶岩を読む・楽しむ・動かす！
～陸上火山と海底火山～

1名 29,700円 (税込)

1部屋1名 洋室シングル

僅行人数：20名 (最小僅行人数：18名)
1泊、夕食1回、朝食1回、昼食1回
※夕食はコロナ対策した宴会場となります。

大陸分裂が進んだ1400万年ごろの盛んな海底火山活動によって形成された島根半島。なかでもさまざまな溶岩の流れた跡が見られる加賀の潜戸や桂島。

また、2000年前ごろの陸上火山活動によって形成された「大塚山」は、柔らかな溶岩のため、島で一番高い大塚山は、火山にもかかわらず標高が僅か42mです。

こうした海底火山と陸上火山をジオガイドと巡り、地質を始めとした多くの違いを見つけていくツアーです。

10月5日(火) (1日目)

(15:30) くまびきメッセ発

→竜溪洞 (溶岩トンネル・希少生物)

→大塚山 (陸上火山・スコリア)

※高山に沈む夕日を観賞

(18:05) 宿着 宍道湖範の宿松江ニューアーバンホテル

参考コース図：<https://goo.gl/maps/1DVvEXdbMDU14rHV9>

10月6日(水) (2日目)

(8:00) 宿発

→波入親水公園 (湧水・チュムラス・柱状節理)

→由志園 (溶岩庭園・大根島模型)

→松江ビジターセンター →潜戸遊覧船 (潜戸コース)

→昼食 (食事処なごさ) →桂島

(14:30) 松江駅 → (15:00) 出雲空港

参考コース図：<https://goo.gl/maps/1C43f5xDuzz7kKrM8>

島根半島・宍道湖中海ジオパーク

10月5日(火) (1日目)



竜溪洞



大塚山山頂



竜溪洞内部



大塚山

10月6日(水) (2日目)



加賀の潜戸遊覧船



大根島由志園の溶岩庭園



桂島

※悪天候時は、遊覧船の予定を変更しますので、ご了承ください。

ポストジオツアー5

大地と人をつなぐ隠岐の島町満喫ジオツアー

1名 43,800円 (税込)

1部屋2名 洋室・和室・バンガロー

催行人数：13名（最小催行人数：10名）
1泊、昼食2回、夕食1回、朝食1回
※夕食はコロナ対策した宴会場となります。
左の料金は1部屋2名です。

離島という大地が織りなす人の営みと神社のつながりを見に行こう。総社の玉若酢命神社。船小屋から学ぶ日本海の地形形成、最古の山祭り文化が残る大山神社、大地が生んだ巨木信仰「岩倉の乳房杉」、船からみる69%の軌跡のサンセット「ローソク島」など、大地×自然×文化が織りなすジオの世界をご堪能あれ。

10月6日(水) (1日目) ※ツアーは大会終了5日の翌日からです。

- (7:55) 松江駅発 (連絡バス)
- (9:00) 七瀬港発 (フェリー)
- (11:25) 西郷港着
→隠岐ジオゲートウェイ →昼食 (西郷港周辺)
→玉若酢命神社 →都万船小屋 →壇鏡の滝
→ローソク島遊覧
- (17:40) 宿着：ホテル海音里 (うねり)

参考コース図：<https://goo.gl/maps/MpDVF9ugU8hoZGhX7>

10月7日(木) (2日目)

- (8:00) 宿発
→水若酢神社 →白鳥展望台 →大山神社 →乳房杉
→昼食 (西郷港周辺)
- (13:20) 西郷港発 高速船レインボー他

参考コース図：<https://goo.gl/maps/da3oQXz37yKVSst6>

ポストジオツアー6

大地から紐解く神社めぐりツアー In 西ノ島

1名 42,700円 (税込)

1部屋2名 和室

催行人数：18名（最小催行人数：15名）
1泊、昼食2回、夕食1回、朝食1回
※夕食はコロナ対策した宴会場となります。
左の料金は1部屋2名です。

海上交通を守護する焼火神社と島前カルデラの関係、由良比女神社のイカ伝説を地形から見るツアーと日本海が生んだ国賀海岸の絶景！海岸周辺一帯の放牧地は牛馬がのんびり草を食む姿が見られる。国賀海岸の一部である「魔天崖」は巨大なナイフで垂直に切り取ったような海拔257mの絶壁！

10月6日(水) (1日目) ※ツアーは大会終了5日の翌日からです。

- (7:55) 松江駅発 (連絡バス)
- (9:30) 七瀬港発 (フェリー)
- (12:05) 別府港着
→昼食 (別府港周辺) →黒木御所 →焼火神社 (14:45)
→国賀海岸遊覧
- (16:30) 宿着：旅館みつけ島荘

参考コース図：<https://goo.gl/maps/SgFXqV2Ad8hoSubt6>

10月7日(木) (2日目)

- (8:30) 宿発
→由良比女神社 →赤尾展望台
→魔天崖～トレッキング～通天橋 →昼食 (別府港)
- (15:10) 別府港発 フェリー他

参考コース図：<https://goo.gl/maps/gb95gikccWYasB2j7>

隠岐ユネスコ世界ジオパーク

10月6日(水) (1日目)



10月7日(木) (2日目)



※悪天候時は、遊覧船の予定を変更します。また、昨年大雨による道路改修工事が9月末までに終了予定ですが、状況によっては行程を変更する可能性があります。あらかじめご了承ください。

隠岐ユネスコ世界ジオパーク

10月6日(水) (1日目)



10月7日(木) (2日目)



※悪天候時は、遊覧船の予定を変更しますので、ご了承ください。

ポストジオツアー7

日本海沿岸の環境問題を考える
～日本海が作り出した景観と環日本海の歴史～
《保全・保護分科会「海ゴミ」との連動型ジオツアー》

1名 23,500円 (税込)

1部屋1名 和室

催行人数：20名（最小催行人数：18名）
1泊、夕食1回、朝食1回、昼食1回
※夕食はコロナ対策した宴会場となります。

大陸の時代の花崗岩が風化して砂となり、それが日本海の海流や日本海からの風で集められ作られた鳥取砂丘。ここには、環境保全のため草原化を止めた地域住民の歴史がある。冬の季節風に伴う日本海の荒波は岩石を削って美しい岩石海岸を作る一方、漂着ゴミをもたらし、住民がそれを撤去し続けることで沿岸部の環境を守っている。日本海に面したかつてのラグーンに位置する青谷上寺地遺跡では、発掘されたヒトから弥生人のDNAが検出され、渡来人が日本海沿岸にやってきた歴史をうかがい知ることができる。このように、このツアーでは“日本海”が影響を与えた景観や歴史を体感できる。また、地球規模で問題となっている気候変動や乾燥地問題に取り組む研究機関「乾燥地研究センター」では、気候変動を学び伝える活動をジオガイドと連携して展開している。これらの見学を通じて、地域特性を作る自然的要素と人の暮らし、そしてこの地域この地球で生き続けていくために何をしたら良いのか、をこのツアーを通じて考えたい。

10月5日(火) (1日目)

(15:30) くまびきメッセ発

(17:30) 宿着：泉源かけ流し温泉のある国民宿舎山紫苑 (さんしえん)

参考コース図：<https://goo.gl/maps/264j2mhFT4WTzrH9>

10月6日(水) (2日目)

(8:40) 宿発 (朝食・出発)

→鳥取市青谷上寺地遺跡展示館

→鳥取大学乾燥地研究センター →砂丘会館 (昼食)

→浦富海岸島めぐり遊覧船

→山陰海岸ジオパーク海と大地の自然館

(16:30) 鳥取駅着

(17:00) 鳥取空港着 (解散)

参考コース図：<https://goo.gl/maps/GAc4k2ew4QMRc9Ym7>

山陰海岸ジオパーク (世界ジオパーク)

10月5日(火) (1日目)

国民宿舎 山紫苑 (さんしえん)



10月6日(水) (2日目)



青谷上寺地遺跡展示館



千賀松島周辺



鳥取大学乾燥地研究センター



山陰海岸ジオパーク海と大地の自然館

※悪天候時は、遊覧船の予定を変更しますので、ご了承ください。



鳥取砂丘